

いちよう 7月号



2023 年度学校経営計画より HP

「自分をきたえる児童の育成」

* 自ら目標を設定する授業

たとえば、水泳の単元で、子ども一人ひとりの能力は異なります。単元の初めに、去年までの自分ができたことを基に、今年目標を自分で設定して、授業を進めます。そしてその目標達成をめざして、授業に取り組みます。人と比較することではなく自分の目標を達成するためにどうしたらいいかを考えたり、話し合ったりします。達成することで得られる喜びは、意欲に結びつきます。

「自他を思いやる児童の育成」

* 自己肯定感の育成・多様な考えを認める人権意識の醸成

まず、子ども一人ひとりが「自分は大切にされている」と感じる事が大切です。自分らしくあることを肯定的にとらえることができるためには、心身の安全が保障され、自分の考えや思いを述べられる環境が必要です。そして、一人ひとりが自分とは違う他者と、認め合い、関わりあう中で、自分の良さや可能性に気づき伸ばしていける学校でありたいと考えます。将来の夢を育めるように。

【6年生 吹上小学校との外国語交流授業】HP

外国語科「自分の住む町のよさを相手にわかりやすく伝える」という単元で、吹上小学校の6年生とオンラインによる交流授業を行いました。同じ栃木市でも北部に位置する吹上小児童と、藤岡小児童が紹介する身近な場所やものは異なります。藤岡小からは、渡良瀬遊水地をはじめ、ふだんよく遊んでいる〇〇公園や新しくできたケーキ店など、絶妙のチョイスでした。

また、相手の関心を引くために、ゼスチャーを混ぜえながらテンポよく発表したり、一方的に話すのではなく相手の応答を確認したりして工夫が随所に見られ素晴らしいプレゼンテーションでした。6年生の表情は、藤岡の魅力が伝えられて満足そうな笑顔でした。

【第2回学校運営協議会開催】

6月28日(水)第2回が開催されました。今回は主に、今年度改訂された「栃木市の働き方改革ガイドライン」を元に協議していただきました。

とちぎ未来アシストネットやコミュニティ・スクールの活用の視点で、今後お願いしたい業務支援についてお伝えし、ご意見をいただきました。また、アシストネットとPTA組織との連携についても意見を交わすことができ有意義でした。

授業参観では、子どもたちが大きな声で音読をしたり、友だちと話し合ったりする活動があたりまえに行われるところが見られて嬉しかったなど、感想をいただきました。

【150周年 藤岡小の歴史(校長講話より)】HP

元々、藤岡町慈福院に「広才館」として始まった本校の歴史が、現在の場所に移ったのは、明治18年のことでした。その時に「藤岡小学校」と改名されました。正面玄関に掲げられた額は今も本校の玄関にあり、当時と今をつなぐ大切な遺物です。この『藤岡学校』は、初代文部大臣を務められた大木喬壬氏による書とあり、改めて歴史を感じます。

校舎は西向き2階建てで、卒業生の作文では、校庭に卒業記念の桜の大木と藤の花や松の植え込みが美しい学校と記されています。教師も子どもも和服姿で、肩に風呂敷包みを背負い、藁草履で登校していました。校庭には遊具もありませんでしたが、休み時間に縄跳びや鬼ごっこなどの遊びを楽しみにしていたと書かれ、今の子どもたちと変わらない様子が目に浮かびます。

大正時代の終わりから昭和初めにかけて、敷地の北側に、新しく、東西2棟の校舎が建てられましたが、昭和11年には、西校舎が全焼するという出来事がありました。しかしながら、その1年後には、同じ場所に新校舎が再建されたということを知り、驚くとともに、地域の皆様の教育に懸ける思いを感じます。

【御礼】HPアクセス数100万回超

<https://tm2.tcn.ed.jp/fujiokasyo-tea/>

☆1年 あさがお観察日記 ☆2年 町探検 ☆3年 交通安全教室 ☆4年 とちぎクリーンプラザ見学 ☆5年 日産オンライン工場見学 ☆6年 外国語交流授業など、写真を多数掲載しています